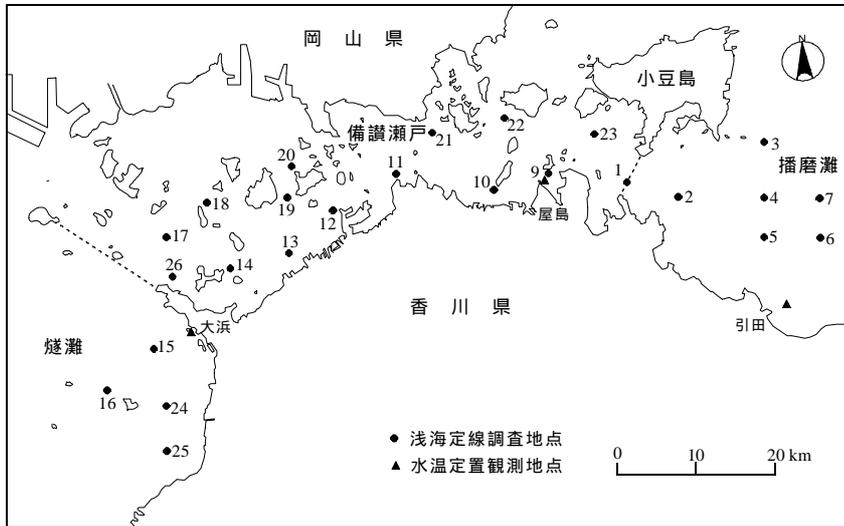


# 香川県漁海況速報 平成17年 3月 (H16-12号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成17年3月2日(播磨灘)、1日(備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「著しく低めからかなり低め」、透明度は「やや低めから平年並み」、溶存酸素は「平年並みからやや高め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	8.7	8.6	9.0	31.3	31.3	31.4	7.3	6.45	6.34
	平年値	8.5	8.5	8.5	32.7	32.8	32.8	9.0	6.64	6.51
	平年偏差	0.1	0.1	0.5	-1.5	-1.5	-1.4	-1.7	-0.19	-0.17
	状況	平年並み	平年並み	やや高め	著しく低め	著しく低め	著しく低め	やや低め	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	8.6	8.6	8.6	31.5	31.6	31.6	5.6	6.53	6.55
	平年値	8.6	8.5	8.8	32.9	32.9	33.0	5.8	6.40	6.41
	平年偏差	0.0	0.0	-0.3	-1.4	-1.4	-1.5	-0.2	0.13	0.14
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	著しく低め	著しく低め	著しく低め	平年並み	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	9.4	9.2	9.4	32.0	32.2	32.3	8.5	6.99	6.61
	平年値	9.4	9.3	9.1	33.0	33.2	33.2	8.0	6.56	6.33
	平年偏差	0.0	-0.1	0.3	-1.0	-1.0	-0.9	0.5	0.43	0.28
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	かなり低め	著しく低め	著しく低め	平年並み	やや高め	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

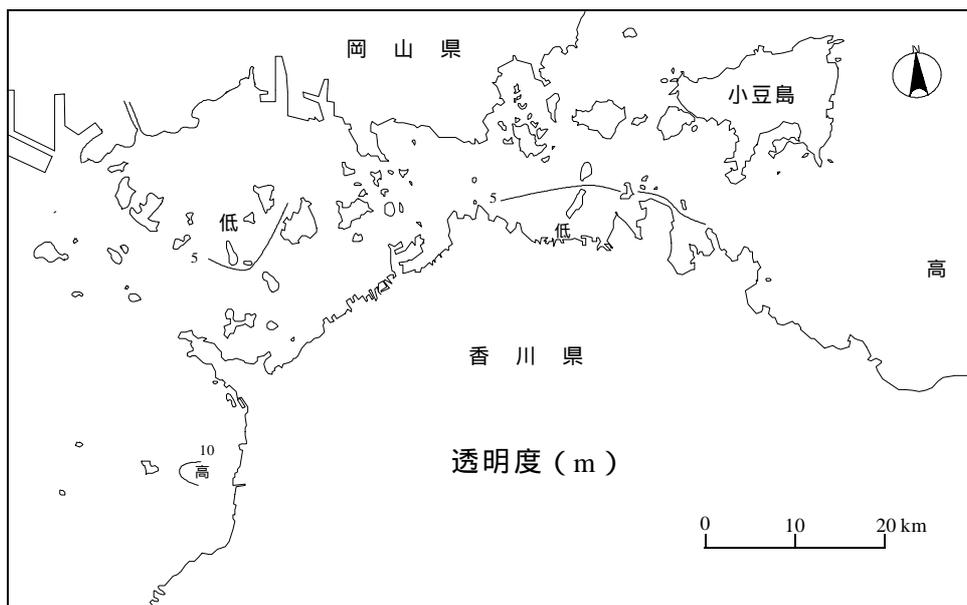
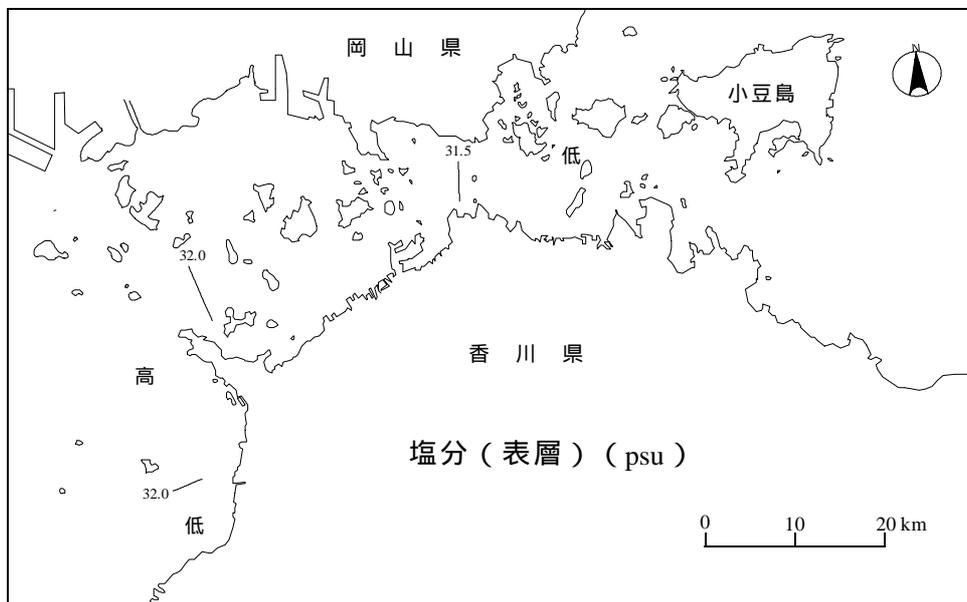
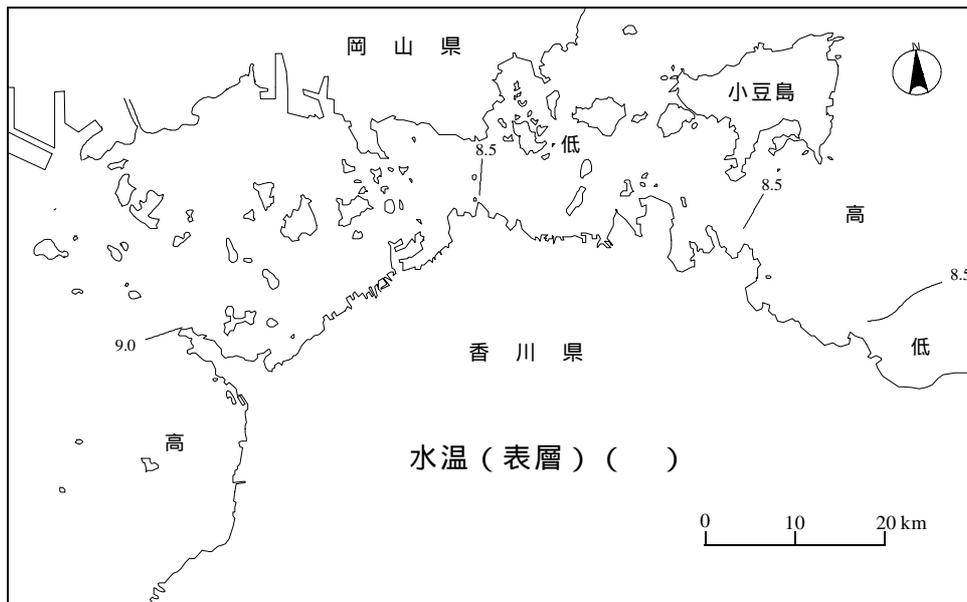
平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成13(2001)年度

透明度：昭和58(1983)～平成13(2001)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	( : 標準偏差)
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差	



## 2) 定量観測(水温)

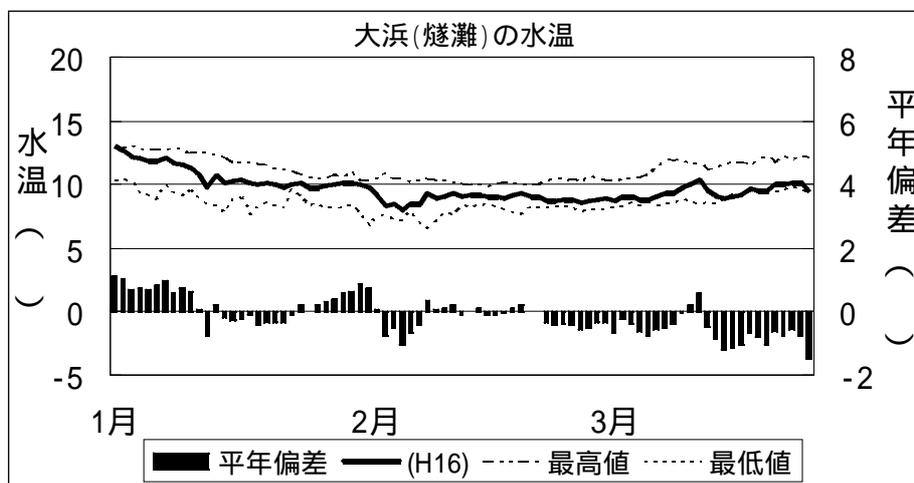
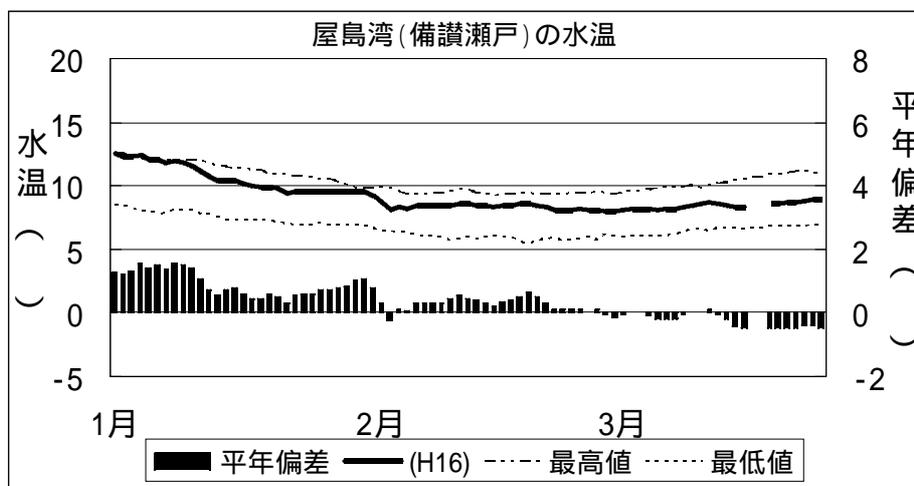
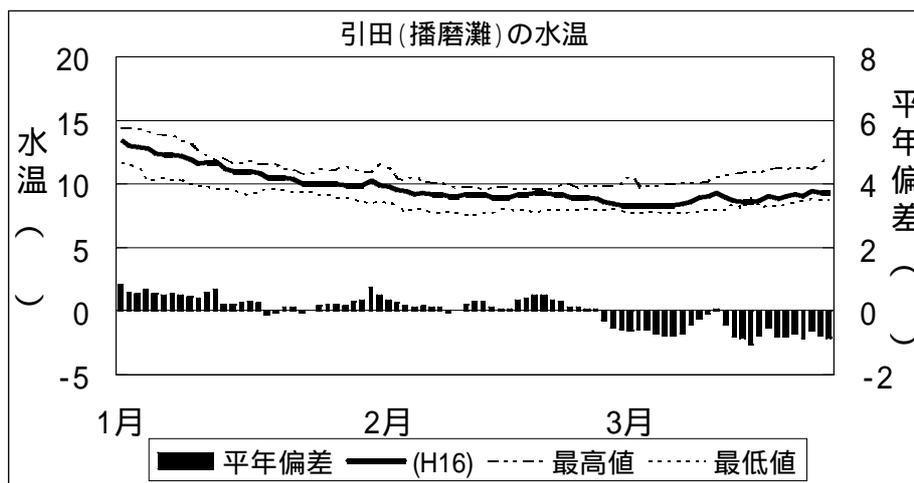
播磨灘(引田): 平年偏差は、2月上中旬 0.5 前後、下旬から平年値を下回り、3月上旬から - 1 前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 平年偏差は、2月上中旬 0.5 前後、下旬3月上旬平年値前後、中旬から - 0.5 前後で推移している。

燧灘(大浜): 平年偏差は、2月に入り平年値を下回り、中旬にやや高くなり平年値前後、下旬には低くなり - 0.5 前後で推移し、3月上旬に一時平年値を上回ったがその後低くなり - 1 前後で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年

屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



### 3) 赤潮

播磨灘：発生なし。  
備讃瀬戸：発生なし。  
燧灘：発生なし。

### 4) 卵稚仔

調査日：平成17年3月2日（播磨灘） 1日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.30
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.04

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	-	-
備讃瀬戸平均	-	-	-	0.0%
燧灘平均	-	-	0.0%	0.0%
総平均	-	-	0.0%	0.0%

- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成15（2003）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成15（2003）年度

各調査点でカタクチイワシ卵の出現量はなかった。

## 2. 漁況

2月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網は主にウシノシタ類、小型エビ類、アカガイ、トリガイが漁獲されているが、全般的に低調である。 小豆島では釣りでマダイが漁獲されている。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、イイダコが漁獲されている。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業の漁獲量はむき身で100～150kg/日・隻と好調な漁獲が続いているが、価格は安値で推移している。 高松沖のイカナゴ込網の2月までの漁獲量は、フルセの2年魚主体で前年より少ない。シンコ漁は3月7日から操業が始まった。
燧 灘	底びき網では主にウシノシタ類、マコガレイ、メイタガレイ、ネズッポ類、フグ類、小型エビ類が漁獲されている。 ます網は3月下旬頃から操業が開始される。

